

2024 年度入学試験問題
〔経済学部〕

一般選抜前期日程

小 論 文

〔論述（長文理解）〕

注 意

1. 指示があるまで、手を触れないこと。
2. 指示に従って、解答用紙に受験番号（算用数字）および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は、解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入すること。
4. 問題冊子は5ページ、解答用紙は1枚である。もし、問題冊子の落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどがあれば、ただちに申し出ること。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

問題 (150点)

次の文章を読んで，設問に答えなさい。

引用：『幸福の増税論—財政はだれのために』井手英策著（岩波書店、2018年、pp.142～147）

<原文の二次利用の許諾を得ていないため非掲載>

引用：『幸福の増税論—財政はだれのために』井手英策著（岩波書店、2018年、pp. 142～147）

<原文の二次利用の許諾を得ていないため非掲載>

引用：『幸福の増税論—財政はだれのために』井手英策著（岩波書店、2018年、pp. 142～147）

<原文の二次利用の許諾を得ていないため非掲載>

【出典】井手英策『幸福の増税論—財政はだれのために』（岩波書店，2018年，pp.142-147）。出題にあたり，原文の縦書きを横書きに改め，漢数字を算用数字で表記した。

（注1）担税力：税を負担する能力のことを指す。

（注2）累進性：本文中にある逆進性（逆累進性）の対となる概念であり，所得が高くなればなるほど税負担が大きくなることを指す。

設問 1

筆者は、よりよい社会を構想する上で、その主な財源を消費税に求めることがしばしば争点となると述べている。本文から読み取ることのできる、消費税（あるいはその増税）に関する批判的見解や問題点について、150字以内で説明しなさい。

設問 2

設問 1 における消費税に向けられる批判的見解に対して筆者はどのような見解を示しているかを整理しなさい。その上で、筆者の見解について賛成あるいは反対の立場のいずれかを選び、その理由に触れつつ、消費税増税に関する自身の見解を 550 字以内で述べなさい。